



1973年5月号



会報

NO.54

墨東ゴム工業会

事務局 東京都墨田区墨田町2丁目35番6号 長瀬ゴム内 TEL (614) 3501

JSRのNBRからバラツキのない耐油製品が出来ます

JSRでは新しい生産方式《連続重合方式》によってNBRの生産をはじめました。従来のバッチ方式と違い、連続重合方式でつくられたNBRは品質のバラツキがありませんので、特に規格のきびしい各種工業用品に安心しておつかいいただけます。

N220S
N220SH
N230SH
N230S
N230SL
N235S
N240S



JSR 日本合成ゴム株式会社 本社 東京都中央区京橋1の1 TEL (561) 0601
東京支店 東京都中央区京橋1の1 TEL (562) 3351

第3のゴム——JSR IR誕生



JSR IRは、素原料が天然ゴムと同じイソプレンからなり、分子構造上もシス1,4結合量が98%と高いので、天然ゴムに非常に近い性質を示します。そのうえ●異物混入が少なくスムーズな型流れ●ロスのない安定した加硫●高充填による配合コストの低減●作業のスピードアップ●加工費の大幅な低減など、合成ゴムならではの高性能を兼ね備えている全く新しいタイプ。いわば第3のゴムです。JSRの技術が結実したJSR IRは、やがてあらゆる分野に顔をのぞかせます。

JSR
日本合成ゴム株式会社

本社 千104 東京都中央区京橋1-1 ☎(03) 563-5111
東京支店 千103 東京都中央区日本橋3-3-11第一中央ビル ☎(03) 563-5111
大阪支店 千541 大阪市東区平野町4-35 千代田生命ビル ☎(06) 203-3801
名古屋支店 千450 名古屋市中村区広井町3-88 大名古屋ビル ☎(052) 571-1231
広島出張所 千730 広島市上八丁堀5-25 中国無電ビル ☎(0822) 21-7252

☆ ◇ ◇ 目 次 ◇ ◇ ◇ ☆	
玉虫とゴム工業の公害.....	大北忠男..... 2
墨東ゴム工業会議事録.....	5
全役員の留任決定 墨東ゴム工業会総会 創立十周年祝賀会開く 黄海升美氏のお祝いのことば 長瀬会長あいさつ 今後とも健全経営を 理事会で 48 年度事業計画など討議 昭和 47 年度事業報告 10 周年記念事業に関する事項 / 広報・宣伝に関する事項 / 慶弔に関する事項 / 新入会員紹介 昭和 48 年度事業計画案 収支決算書 昭和 47 年度決算書 (歳入の部) 昭和 47 年度決算書 (歳出の部) 昭和 48 年度予算案	
ヒノデワシゴム新社屋完成.....	13
ゴム廃棄物の有効利用について.....	平田好顕..... 14
東部ゴム工業会総会.....	22
塚田氏が常務に選任、菅谷氏は顧問に 祝日法の一部改正に伴う ダブリ休日の取扱いについて..... 24 中小企業の週休二日制問題..... 25 日本ゴム工業会第 123 回理事会より	
ゴム製品大幅値上げの改訂に突入.....	26
練生地も大幅再値上げ.....	26
どこ迄続く資材不足.....	27
..... ちまたの情況	
☆ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ☆	

玉虫とゴム工業の公害

大北 忠 男
(芝浦工業大学工学研究所・教授)

玉虫とはすでに皆様御存知の通りあの有名な法隆寺の重要美術品「玉虫の厨子」に塗り込められ約一四〇〇年もきれいな光を放つ羽根をもった虫のことである。

そしてまた、これを粉匣に入れておくと、愛人の愛が永久に絶えない、という日本人の愛のきづなともなる。全くきれいな虫であり、学問的にいえば鞘翅目の玉虫科の昆虫である。

これだけ文学的に、また、美術的にもてはやされている虫ではあるが、実体は松や桜や榎の害虫であり、栗の木の害虫

のかみ切り虫と親類であり、また、子供にもてはやされ今は培養までされて百貨店で売っている。甲虫やかなぶん（これは糞ころがしの黄金虫の一種であるが）の同族でもある。

害虫も使いようによっては有益なものであり、ゴム工業の公害も使いよう、いやもっていきようによってはゴム工業にプラスになるものである。

ボロや鉄屑も昔は有用に再生されていたため、屑屋が高価に買い集め家庭をいくらかでも潤はしていたが、今は古新聞の塵紙交換だけである。

ゴム工業も昔はこれと同じであった。

われわれが初めてゴム工業にたづさわって某自転車タイヤ工場を見学したが、この工場で自慢できるものは何もないが、唯一つ、この工場の門から出る物は、人と自転車タイヤだけであるといわれた。即ち、出るゴミ、廃棄物は何もないというのである。そして、一流のタイヤを作っていた。また、古ゴム製品もホースからゴム靴まで拾い集め、きれいに洗滌し、布や金具をばづし再生ゴムの材料とし、この再生ゴムを総新ゴム使用量の二〇％迄混用していた。

時代の流れと共に日本が大きく使い捨ての時代に変貌し、また、合成ゴムが安価に入手できるようになったのでトラックやバス用のタイヤ以外再生ゴム材料としては使われなくなった（規格があがり再生ゴムを二〇％も入れては規格外品になるためもある）。

しかし、時代は再転した。ここ数年公害が著しく問題になり、固形廃棄物は一五センチ以下に切断し埋め立てに使うが、焼却する必要がある、それも排出する煤や粉じん、あるいは量が問題になり、廃水中の重金属（これはゴム工業では大した事はないが）やラテックスのゴム粒子さてはアンモニアまでが問題になり、ロールやカレンダーの騒音も問題になってきた。加硫の根源である燃料もC重油は勿論、B重油さえあまり使えなくなってきた。その上廃棄物は使い古しのタイヤホースまで、ゴム工場で処理しなければ新品が売れなくなっし、公害対策費

が著しくかさばることになってきた。

米国の廃棄物の調査結果がバットル研究所の報告として出ているが年間全量約四四億トンであり、この内農業と動物の排出物が二三億トン、鉱業関係廃棄物が一七億トン、工業と家庭などの廃棄物合計が残り約四億トンであり、廃棄物の考え方が日本と大分違いはする。

アメリカ人は、消費は美德なりと教え込まれそれで大きく伸びて来たそうであるが、戦後の日本も全くそうであり、これが廃棄物を多くする第一の原因であり、第二の原因は新しいものや珍らしいものに飛びつくこと、第三の原因は新しい便利なものは手に入れば到底我慢ができないことであるようだ。

戦後の日本も全くそうであり、これに著しい工業の進展があり、盛んにモデルチェンジする自動車やテレビの氾濫がある。

ゴム工業も御多分に洩れず、全くその

通りであり、各種の合成ゴムが安く市場

に氾濫し再生ゴムを使うどころではなく、また、各種の上等の繊維がふんだんに得られる。加硫促進剤やカーボン黒にしても選り次第だし、且ほとんど新しいデザインの新製品を作り宣伝し売ってゆかなければたちまち取り残されてしまう。これが公害を大きくした非常に大きい原因である。大気は汚れ、水はろくに飲めなくなるし、魚や野菜もうつかり食えない。呼吸をするにもいきづまりそうである。

それに主原料である石油は今後二十年最大五十年、天然ガスも大体同様である由（成長の限界参照）。その上石油（われわれの合成ゴムもカーボン黒も繊維も全くこれが原料であるが）は、ほとんど輸入であるし、かつ、値段がどんどんあがっている。あの近年暴騰している金と同じ運命にある。今から公害防止の新しい手段を見つけ、かつ、資源を有効に使用しなければ、間に合わない。

幸い廃棄物は山程あり、今処分に困っている。自動車タイヤでいえば廃棄分が昭和四十七年約四五万トン、昭和五十年には約五六万トンになり、この内用途のないのがその半分の年二八万トン位である。他方、最も近代化されたスチールロードや鋼線入りホースは処分に困るし、これ等の処置が全てゴム屋、ゴム工場にまかされている。

現在使われている他の五〇%の方も全く有効な利用とは云えず、コンベアベルトの如きは泥よけ道路の敷物になっているし、かつ、履物は全て家庭のゴミと一

緒に捨てられて公害の大きい元凶となっている。全く戦前と逆の形になっている。即ち、今は土や練瓦屑より始末に悪い「ゴム製品廃棄物」ではあるが、これは二十年、三十年すれば金になる卵である。今の内に「ゴム廃棄物を喰って金の卵を生む鶏」を作っておかなければ大変なことになるしまった大損をする。今の内に湿地帯を買っておくようなものである。

最近米国の各研究所を見学して帰ってきた人の話によると、この廃棄物の再生再活用が米国でも最大の研究課題になっているそうである。うっかりしていると

廃物利用の日本の器用さがアメリカに奪われるかも知れない。ゴム工場の廃棄物を喰って新しい製品を生む、即ち、ゴム工場の糞ころがし「こがねむし」に早くなって、工場が永遠に栄えるようにしなければならぬ。これがゴム工業と人間を永久につなぎとめる愛情のきづなでもある。

やはりわれわれが爺さんや婆さんから耳にたこ出来る程いわれた「部を大切に」、「天物謝恩」を、心から行うべき時代に再び入ったのではあるまいか。



全役員 の 留任 決定

墨東ゴム工業会総会で

墨東ゴム工業会は五月八日午後五時から向島「大和田」で総会を開き、昭和四十七年度事業報告、昭和四十七年度決算報告を行なうとともに、同日、午後四時から開催された理事会の決定にもとづく昭和四十八年度事業計画並びに同予算案を審議した結果、万場一致でこれを可決、引つづき任期満了にともなう役員の改選に移り、長瀬会長以下、全役員の留任を決定した。

総会は、斉藤庶務部長（中川ゴム社長）の司会で、出席二十八社、委任状提出十五社、合計四十三社。会員五十三社中、大半の同意を得たので総会が成立する旨の宣言がなされ、議長に長瀬泰吉氏を選出、議長あいさつのち、ただちに別項

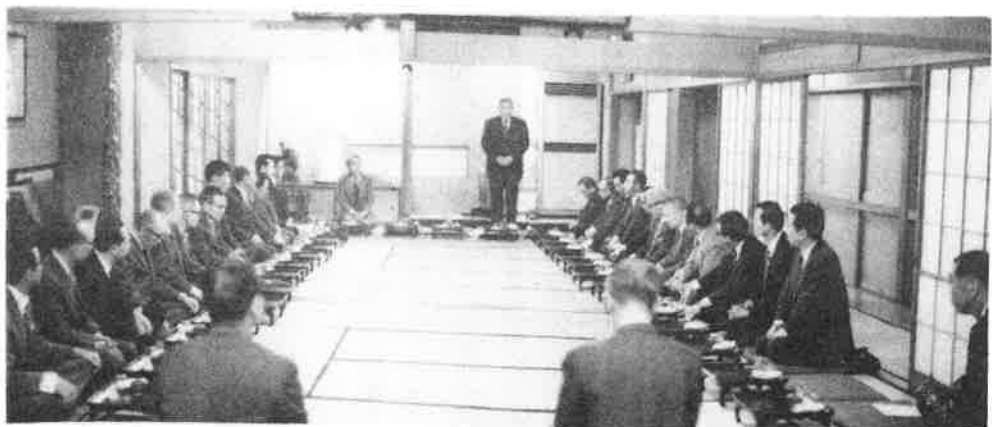
各案件を一括審議した。この結果、全会

一致で可決、新年度役員については、長瀬会長から健康上の理由により辞意が表明されたが、再度の理事会の要請により会長重任を了承、富岡副会長以下全役員の留任を決定した。また、理事に金星ゴム社長杉本通夫氏と青木エボナイト顧問、橋元一郎氏を新たに選任した。

新年度役員は次のとおり。

- ▽ 会長 長瀬泰吉（長瀬泰吉）
- ▽ 副会長 富岡五郎（富岡調帯）
- ▽ 常務理事 桑沢謙吉（長瀬ゴム）
- ▽ 常任理事 堀内清純（東京ゴム）
- ▽ 常任理事 堀内清純（東京ゴム）
- ▽ 同 右川清夫（右川ゴム）

（以下三頁下段につづく）



長瀬会長らに記念品

創立十周年祝賀会開く

墨東ゴム工業会は五月八日午後六時から、向島大和田で創立十周年記念祝賀会を開いた。

会は、まず富岡副会長が「創立十周年の記念行事を、昨年十二月八日、上野精養軒で開催の予定で準備を進めていたが、長瀬会長の健康が優れず、のびのびとなっていた。幸い、会長も元氣になられたので、この辺で一区切りつける意味において、本日祝賀会を開くことになりました。なお、これまでの会長のご苦勞を謝し、会より銀製の花ピンと感謝状を贈りたい」と挨拶、富岡副会長から長瀬会長に感謝状の贈呈がなされた。

次いで墨東ゴム工業会創立に際して功勞のあつた故人の顕彰に移り、斉藤正勝

(東京ゴム)菅谷辰夫(ヒノデワシゴム)右川洪輔(右川ゴム)今田光信(東都ゴム)佐藤竹松(東方ゴム)の各遺族に対して感謝状と記念品(配送)が贈られ、堀内氏(東京ゴム)が遺族を代表して謝辞を述べた。

このあと、黄海升美氏(大内新興)から別項のお祝いのことがあつて宴に入つたが、向島の綺麗どころを交えての歓談は、和氣あいあいのうちに午後八時その幕を閉じた。

黄海升美氏のお祝いのことば

このたびは墨東ゴム工業会創立十周年おめでとうございます。技術部会の席上で墨東の皆さんと顔を合せて久しくおつき合いをさせていただいておりますが、会の皆さまと本日十周年をお祝ひできたことを心からよろこび御礼を申し上げます。先ほど長瀬会長から十年のしめくくりというお話がありましたが、三十年とますます発展されるようお祈り申し上げ、ごあいさついたします。

▽常任理事今田隆吉(東都ゴム)▽同上野喜重(三巴ゴム)▽同菅谷満良(ヒノデワシゴム)▽同山崎春次(山崎化学工業)▽同新発田丘(シバタ東京工場)▽同蔭山一(東伸ゴム工業)▽同武藤親弘(武藤ゴム)▽同石川義夫(八幡ゴム)▽同芹沢定之助(芹沢ゴム工業所)▽理事鶴岡秀世(鶴岡ゴム)▽同大野耕(ダブルスターゴム)▽同鯉淵時(鯉淵ゴム)▽同中村一郎(大日ゴム)▽同間吉哉(間ゴム工業)▽同理事福岡新一郎(福岡製作所)▽同松石勝身(共和ゴム)▽同遠藤英信(日興ゴム)▽同曾我馬次郎(城東製作所)▽同高橋善蔵(高橋ゴム)▽同福島正雄(上進ゴム工業)▽同堀川甲(堀川ゴム工業)▽同橋元一郎(青木エポナイト)▽同杉本遥夫(金星ゴム)▽会計監事佐藤繁雄(東方ゴム)▽同田中昭二(田中ゴム)

(以上三十一名)

今後とも健全経営を

長瀬会長あいさつ

永い間病氣のため、会を休み、皆さまに種々迷惑をお掛けしました。また多くの方々よりお見舞をいただき有難うございました。病状の方は大分良いのですが、無理ができませんので富岡副会長に辞意を伝えたのですが、役員会の決議によって、もう一期会長をつとめさせてもらうことになった。何分にも休養期間が長く、業界の会議にも出ていないので業界

の動向を把握しにくい、一般傾向として社会情勢は目まぐるしく変化し、インフレをとらなっている経済環境下というところで各社とも経営は大変だと思ふ。また輸出面でもドル価値の低下などで生じる為替差損など内外に多くの問題をかかえている。皆さんもこういった点を十分留意され、万が一にも経営が苦しくなるようなことが無いよう心掛けてほしい。す

でインフレ防止対策の一環として、金融の引きしめが徐々に浸透し市中銀行などでは選別融資がなされている。幸い、ゴム製品の需要は旺盛なものがあつて、品ものがダブつくということはないが、無茶な競争なをする、高い原料と高い労働力というコスト高を吸収することはできない。今日では原料難の声もきかれるほどである。こういうことも念頭において、今後とも健全経営を続けていきたい。

事業計画など決る

墨東ゴム工業会理事会

墨東ゴム工業会は五月八日午後四時から理事会を開き、別項のとおり、昭和四

十七年度決算報告をとりまとめるとともに四十八年度予算、事業計画などをきめ

た。
また、新年度役員については、長瀬会長以下全役員の留任を決議、同日、午後五時から開催予定の総会に同案を提出することを決めた。

昭和四十七年度事業報告

一、拾周年記念事業に関する事項

- 1 昭和四十七年四月八日 於中むら 拾周年記念事業実行委員会を開催
- 2 昭和四十七年六月十五日 於中むら 拾周年記念事業実行委員会を三木会と共に開催
- 3 昭和四十七年七月二十一日 於中むら 拾周年記念事業実行委員会を三木会と共に開催
- 4 昭和四十七年九月二十二日 於大和田 拾周年記念の座談会を開催
- 5 昭和四十七年九月二十九日 於中むら 拾周年記念事業実行委員会を開催
- 6 昭和四十七年十月十三日 於中むら 研究会 ばい煙測定並びに記録に

関する事項

二、広報、宣伝に関する事項

1 会報の発行

- イ 昭和四十七年四月二十五日 三月号発行
- ロ 昭和四十八年二月二十八日 一月号発行

2 広告

- イ 昭和四十七年八月十六日 ゴムタイムス紙に暑中見舞の広告をした
- ロ 昭和四十七年八月二十三日 墨田区民新聞に暑中見舞の広告をした
- ハ 昭和四十七年八月二十四日 ゴム時報に暑中見舞の広告をした
- ニ 昭和四十八年一月二十日 ゴムタイムス紙に新年の広告をした
- ホ 昭和四十八年一月三十一日

墨田区民新聞に新年の広告をした

へ昭和四十八年二月二日

ゴム時報に新年の広告をした

三、慶弔に関する事項

- イ、昭和四十七年五月四日 株式会社城東製作所、社長死去に際し花環を贈る
- ロ、昭和四十七年五月十二日 株式会社田中ゴム製作所、社長母堂死去に際し花環を贈る
- ハ、昭和四十七年十月十四日 長瀬会社に見舞品を贈る
- ニ、昭和四十八年二月二十日 片岡ゴム工業所火災に際し見舞品を贈る

四、新入会員紹介

- 昭和四十八年二月七日 葛飾区東四ツ木四一四 水留ゴム工業株式会社

研究会等の開催

4. 経営部会の労務対策に関する事項

5. 会報の発行（年六回発行予定）

三、其の他本会の目的を達成するため必要事項

昭和四十八年度事業計画案

一、会員の親睦と協調を計る事業

- 1. 諸会合、懇親会の開催
- 2. 見学旅行会の開催

二、工業会の発展に資する事項

- 1. 関連団体諸機関との連携
- 2. 技術部会の講演会、ゴム技術講習会の開催
- 3. 経済部会の講演会、金融関係の研

収 支 決 算 書

自 昭和47年4月1日
至 昭和48年3月31日

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
業 務 費	1, 101, 275	会 費	1, 142, 500
		広 告 収 入	123, 000
		雑 収 入	13, 388
本 年 度 剰 余 金	876, 466	前 年 度 繰 越 金	698, 853
計	1, 977, 741	計	1, 977, 741

昭和 47 年度決算書

昭和 48 年 3 月 31 日

歳 出 の 部

科 目	昭 和 47 年 度		比 較 増 減	
	予 算	決 算	増	減
旅 費 交 通 費	5,000	860		4,140
事 務 局 費	150,000	160,000	10,000	
通 信 費	100,000	55,980		44,020
消 耗 品 費	10,000	16,640	6,640	
会 議 費				
理 事 会 費	10,000			10,000
総 会 費	130,000	106,080		23,920
諸 会 議 費	120,000	122,280	2,280	
調 査 研 究 費				
講 演 (習) 会 費	100,000			100,000
図 書 費	10,000			10,000
会 報 製 作 費	650,000	204,000		446,000
広 告 費	30,000	31,000	1,000	
慶 弔 費	40,000	33,800		6,200
厚 生 費	10,000			10,000
旅 行 会 費	150,000			150,000
雑 費	7,000			7,000
予 備 費	56,353	370,635	314,282	
事 務 所 建 設 資 金	900,000			900,000
			334,202	
計	2,478,353	1,101,275		1,711,280

昭和 47 年度決算書

昭和 48 年 3 月 31 日

歳 入 の 部

科 目	昭 和 47 年 度		比 較 増 減	
	予 算	決 算	増	減
会 費	1,230,000	1,072,500		157,500
1,000×21社	252,000	233,000		
1,500×20〃	360,000	321,000		
2,500×9〃	270,000	262,500		
4,000×2〃	96,000	88,000		
7,000×3〃	252,000	168,000		
46年度分未収分	45,500	38,500		7,000
48年度分既収分		29,000	29,000	
新入会員分		2,500	2,500	
雑 収 入				
預金利子其の他	8,000	13,388	5,388	
会報広告料収入	345,000	2,000		343,000
同上46年度未収入分	151,000	121,000		30,000
前年度繰越分	698,853	698,853		
			36,888	537,500
計	2,478,353	1,977,741		



ヒノデワシゴム新社屋完成

23 日盛大に披露パーティー

ヒノデワシゴム工業（本社墨田区東向島一ノ七ノ八 菅谷満良社長）では、かねてから同社社屋が老朽化したことと、事業進展にともない事務所が手狭まとなったため旧事務所をとりこわし、新社屋を建設中であつたが、このほど完成、七月二十三日午後一時から三時まで、内外関係者約二百名を招いて盛大な竣工披露パーティーを開いた。新社屋は、近代美を誇るスマートな鉄筋コンクリート造り四階建で、建坪五十三坪、（四階は一

部屋上）延百五十三坪。一階が営業、資材、庶務関係事務所、二階が社長室、応接室、経理事務室、三階が食堂、四階は休憩室になっている。なお、施工は杉山建設工業（株）、所要資金は四千万円。

□新刊紹介

経営の本質と課題

新田ベルト株式会社の常務である芦沢勝春氏が、このほど法律文化社から『経営の本質と課題』なる本を出版した。

同書は①企業とは何か ②企業の経営のあり方に鋭いメスを加えて解明しながら他方、経済史、文化史なども織込んで読書をあきさせずに読ませられる。今や大きく変身をとげつつある新田グループの経営理念をも知ることができる興味ある書。

C 六版・二三七ページ・定価千円。

法律文化社 東京都北区上賀茂岩ヶ垣内町七一。

昭和 48 年度予算案

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	1, 146, 000		
4 7 年度分	20, 000	旅 費 交 通 費	5, 000
雑 収 入		事 務 局 費	160, 000
預 金 利 子	8, 000	通 信 費	100, 000
会報広告料収入	324, 000	消 耗 品 費	10, 000
全上47 年度未収入分	203, 000	会 議 費	
		理 事 会 費	10, 000
		総 会 費	150, 000
前 年 度 繰 越 金	876, 466	諸 会 議 費	120, 000
		調 査 研 究 費	
		講 演（習）会 費	100, 000
		図 書 費	10, 000
		会 報 製 作 費	650, 000
		広 告 費	31, 000
		慶 弔 費	40, 000
		旅 行 会 費	150, 000
		雑 費	7, 000
		予 備 費	1, 034, 466
計	2, 577, 466	計	2, 577, 466

ゴム廃棄物の有効利用について

平 田 好 顕
(兵庫県立工業試験場有機化学部長)

一、ゴム製品の生産と廃棄物

わが国のゴム工業は急速に成長し、新ゴム消費量も八〇万トンを超え、アメリカに次ぐゴム製品生産国となっている。特に、自動車工業の高度成長にしたがってタイヤ生産にはめざましいものがある。このようなゴム工業の隆盛は当然ながら工場の製造工程において生ずるスクラップゴム、使用済みの種々のゴム製品、古タイヤの廃棄が逐年増加している。古タイヤの発生量の見通しは表一に示すとおりである。

従来、このようなゴム廃棄物の処理は完全でなく、不法投棄などによる環境汚

染の原因となり、大きな社会問題となっている。これらのゴム廃棄物の処理について早急に処理対策が要望されている。

二、ゴム廃棄物処理の方向

一般に廃棄物の処理は海上投棄、埋没、焼却などが行われてきた。古タイヤは大半が埋立地などに投棄されてきたが、不法投棄も多い。昭和四十六年九月二十三日に「廃棄物の処理および清掃に関する法律」が公布された。法律には「ゴムくず」および「廃プラスチック類」については産業廃棄物としての定義が設けられ、この中では生産工場の事業活動によって生ずるゴムくず、プラスチックく

ずはすべて規制対象になることはもとより、販売店、ユーザーなど流通段階で生ずる古タイヤなども対象となる。同法律の施行令によると、ゴムくずおよび廃プラスチック類は「あらかじめ最大径をおおむね十五センチメートル以下に切断、破砕して埋立てるか、または二次公害を生じないように焼却設備を用いて焼却すること」が決められている。しかしながら雑ゴムと混合して処理されると、焼却の際悪臭を生じたり、高カロリーや発生ガスのため炉壁を損傷することが多い。プラスチック廃棄物が包装材料を主とする生活廃棄物であるため、分別回収が困難であるに反して、ゴム廃棄物は古タイヤをはじめとして排出管理が他の廃棄物より完全に行うことが出来る。したがって集中処理体制も計画しやすい。

一方、原料ゴムは天然ゴムと合成ゴムに分けられるが、合成ゴム量が逐年増加し、石油資源に依存する率が高い。最近、石油資源の枯渇が報じられ、その確保が大きな問題となっている。石油資源の耐用年数は表2のように推定されている。

石油資源がゼロに等しいわが国では、石油消費量が年々増大するため深刻な問題であり、その安定確保の対策が急がれている。合成ゴムが石油資源より生産されたものであるから、その大量のゴム廃棄物も簡単に埋没や焼却せず、資源として再利用出来ることが望ましい。ゴム廃棄物が資源としてリサイクルされれば廃棄物として自然界へ放出される量も減少し、資源保護と同時に環境汚染を防ぐことが出来る。

三、有効利用の方法

新ゴム消費量を製品別にみると図一のようになる。

これはゴム生産工程から発生するスクラップゴム（産業廃棄物）はもちろんのこと、古タイヤ（準産業廃棄物）および使用済の工業用品（産業廃棄物）についても他の産業廃棄物に比較して回収が容易であると考えられる。特に、古タイヤの完全処理によって五〇％以上が解決出来ることになる。このようなゴム廃棄物

をいかに有効に利用するか、各分野から検討が行われている。

ゴム廃棄物、特に、古タイヤを中心に有効利用の方法を考えると、

①、原形または、それに簡単な加工を加えて利用。

②、ゴムを粉砕し、粉末状または多少加工した状態として利用。

③、再生ゴム原料として利用。

④、ゴムを熱分解し、生成したガス、油、残渣を利用。

⑤、二次公害の無い焼却により、燃焼熱を有効に利用。

以上のような有効利用の方向が考えられている。特に、再資源化の観点から④

の熱分解法は重要である。

四、原形または、簡単な加工による利用

あまり手を加えずに利用出来、費用も少く有利であるが、用途および使用量は制限される。次にそのらの衆知の使用例を簡単に示すこととする。

《古タイヤの輸出》 中国、フィリピンなどに輸出されるが、草履底、更生タイヤなどに再利用されているものと考えられる。

《更生タイヤ》 古タイヤを利用して年

表1 古タイヤ発生量の見通し

(単位：本数1,000本、製品重量トン)

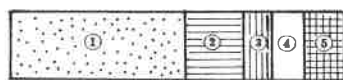
項 目		46 年		47 年		48 年		49 年		50 年	
			指数		指数		指数		指数		指数
取換時発生本数		25,532	100	27,126	106	28,647	112	30,068	118	31,144	122
廃車時発生本数		7,080	100	9,288	131	10,731	152	11,737	166	13,471	190
合 本 数		32,612	100	36,414	112	39,378	121	41,800	128	44,615	137
計	製品重量	384,966	100	440,088	114	482,780	125	513,916	133	550,678	143
要最終処理量		269,477	100	286,057	106	289,618	107	282,654	105	275,339	102

(注) 産業構造審議会化学工業部会自動車タイヤ分科会作成

表2 石油資源の耐用年数

現 存 埋 蔵 量	455×10 ⁹ バレル
静 態 的 耐 用 年 数	31 年
幾何級数的耐用年数	20 年
現存埋蔵量を5倍にした場合の幾何級数的耐用年数	50 年
資 源 保 有 国	サウジアラビア17% クウェート15%
主 な 産 出 国	アメリカ23% ソ連16%
主 な 消 費 国	アメリカ33% ソ連12%、日本6%

図1 用途別新ゴム消費量



内 訳

種 別	
① タイヤ (チューブ)	52.6
② 工 業 用 品	21.4
③ は き も の	7.2
④ 引 フォームの布 他	7.5
⑤ 電 線 の 他	11.3
計	100

表3 昭和22年より最近に至るまでの再生
ゴム状況の推移

年 別	再生ゴム消費 量(1)	原料ゴム消費 量(1)	(新ゴ) 消費 比率(%)
昭和22年	1,980		12.8
23	3,924		17.2
24	6,920		21.4
25	10,927		18.3
26	13,982		22.5
27	12,937		20.7
28	14,267		16.6
29	11,936		13.3
30	14,186		15.2
31	17,885		15.9
32	19,434		14.1
33	19,003		14.0
34	29,550		16.8
35	32,953		15.1
36	35,637		14.0
37	39,689		14.0
38	43,432		14.0
39	46,349		14.8
40	46,671		14.5
41	44,652		12.7
42	50,216		12.1
43	55,532		11.4

出所：(通産省統計)

▲石炭の増量材
粉末ゴムを石炭粒に五
乃至一〇%混合し石炭
の増量材として使用す
る。ゴムの発熱量は
八、〇〇〇乃至九、〇

▲吸油材
粉末ゴムの大きな吸油性
を利用して、海上あるいは地上へ流出し
た油の上に散布して油を吸収させ、これ
を加熱して揮発物を蒸発させたのち、蒸
留残渣は加熱空気を吹込みながら加熱し
てアスファルト改質用
として利用する。この
粉末ゴムは粒子が大き
いと沈降するので一乃
至一〇メッシュ付近が
よく、短時間に油を吸
収して大きな凝集塊と
なる。

▲弾性骨材
粉末ゴムを弾性骨材と
して、他の無機骨材とともにアスファル
トに配合し、短時間混合後敷きひろげて
圧延し平滑な舗装面を得る。テニスコー
トのような球技場をはじめ種々の運動施
設に利用され、弾性骨材配合によって耐
衝撃性、弾性、滑り抵抗などが改良され
る。
コンクリートにも無機骨材とともに配
合し、弾性付与、き裂防止、環境変化に
よる熱応力の減少に効果がある。目地材
のき裂防止効果を付与するためにも使用
される。

▲充てん剤
再生ゴムの代りに廃棄
ゴムを粉碎したものを、ゴムの増量充て
ん剤として配合する。配合によって力学
的性質は低下するが、廃棄タイヤを低温
粉碎したものは一〇乃至五〇%配合の範
囲内では低下は少ない。表面の酸化を防
ぐことによってゴムへの分散性が改善さ
れる。プラスチックへの配合についても
検討されている。

▲アスファルトの改質
アスファル
トの道路舗装の耐クラック性、耐久性、
耐低温硬化性、耐高温軟化性を改良する
ため、廃棄タイヤの粉末を配合すること
が検討されている。混合分散にやや長時
間を要するのは、高温のアスファルト中
で、ゴム粉末が膨潤し、一部の硫黄架橋
が切れた状態でアスファルト中に分散さ
れるためである。

もしも通る。施工もクラッカーロールに
よる廃棄タイヤの粉碎、セメントミキサ
ーによるバインダーの混合、ローラーに
よるならしの工程で簡単に利用出来る。
▲土壌改良剤
ラジャール大学では廃
棄タイヤ上で繁殖し、タイヤを分解微粉
化する五〇種以上の微生物を発見した。
得られたゴム粉末は土壌改良剤として使
用出来る。また、ミシシッピ州立大学
では廃棄タイヤを粉碎し、これを五乃至
一〇%濃度に表土中に混合すると、植物
の成長を著しく高めることが出来ると発
表した。これはゴム粉末が酸素を吸収
し、また、イオン交換能をもち、土壌の
凝集性や水の浸透性、保持性を改良し、
さらに表土の硬化を防ぐ。しかしながら
酸化亜鉛などのゴム配合剤が植物に与え
る影響は明らかにされていない。

間約二〇〇万本を生産すると推定され
る。
▲防げん材
古くから漁船のような
小型船舶や港湾において防げん材として
使用されている。
▲児童公園の遊具
量的には僅かだ
であるが、児童公園などの遊具として使用
されている。
▲土留め材
林道に面した崖崩れ防
止および流土防止のため、廃棄タイヤを
積み重ねて山腹工事に使用する。タイヤ
とタイヤの間からの水はけがよく土砂崩
れ防止に最適である。これは廃棄物利用
により経済的であり、かつ効果的な山腹
工法で施工には特殊技術が必要でない。
▲植物やパイプの保護材
樹木保護
のため、タイヤの一部を切断し、原形の
まま樹木に数本巻きつける。同じように
パイプ類の保護としても利用出来る。
▲道路工事または湿地用マット
廃
棄タイヤを針金でつないで湿地などの土
地補強用に使用する。また、タイヤの一
カ所を切断、クラウン部を両側のショル
ダー部で切り離して、ほぼ平板にしたも
のを針金で平面状につないで敷く方法も
ある。
▲高速道路の緩衝材
高速道路での自
動車の衝突時の緩衝体として利用試験が
されている。高速道路の中央分離帯や橋
梁脚に廃棄タイヤを積みこんで六〇マ
イルの速度で自動車が衝突しても、その
時のショックは四・五G程度で、人間は

一二Gまで耐えられるので死亡事故が防
止出来る。テキサス州でタイヤをケーブ
ルでつないでガードレールの代用にする
ことが考えられた。
▲人工魚礁
米国ジョージア州とサ
ウスカロライナ州で人工魚礁として廃棄
タイヤを使用し効果を挙げている。米國
のこの地方の海底は砂が多く魚が住みに
くいので、この種の魚礁は価値がある。
わが国でも昭和四十六年九月に日本グッ
ドイヤーが千葉県和田浦沖に沈め、一年
後の魚の棲息状態を調査したところ極め
て良好であった。海底で数カ月後には海
藻類、貝類が付着し人工岩礁が出来た。
またブリヂストンタイヤでは、タイヤの
ビード部分をゴムが付着したまま切り取
り、ピラミッド状に連結して魚礁とする
ことを試み、横須賀の荒崎沖で試験中で
ある。
廃棄タイヤを他の用途に利用する場合
にビード部分を除去することが多いから
完全利用の面から興味がある。
▲軌道緩衝材
ブリヂストンタイ
ヤ、国鉄、帝都高速度交通営団が共同で
建築物や路盤の振動防止、騒音抑制のた
め、小型廃棄タイヤのクラウン部を両側
のショルダー部で切り離して平板状に
し、これを二枚直角に組合せて鉄止めし
て広いマット状にしたものをコンクリー
ト路盤とバラスト道床の間に敷きつめる
と一五乃至二〇%の振動吸収ができる。
またバラストの細かく砕けるのを防ぐ。

五、ゴムを粉碎し、粉末状ま たは多少加工した状態で 利用

国鉄新幹線でもバラストマットを採用
し、廃棄タイヤのリムを細かくしたもの
を合成ゴムを加えてゴム板を造りバラス
トの下に敷く計画がある。
また、一般道路舗装の下層処理にも類
似の使用法が出来る。

加硫ゴムのような弾性体を粉碎するこ
とは必ずしもエネルギー的、経済的に有
利な方法ではないが、不定形のゴム廃棄
物や廃棄タイヤの形態での用途は狭い範
囲でしか考えられない。形態を均一にす
るため、または再成型の手段として、あ
るいは表面積を大きくするため、常温に
おける特殊な粉碎、深冷粉碎など研究さ
れているが、効率の良い経済的な粉碎法
の開発が望まれている。
▲人工芝生
米国グッド・イヤー社
に廃棄タイヤを細片にし、自然加硫型配
合のラテックスをバインダーとし、染料
で着色してカーペット状にため、人工
芝生としてアクリン市近郊の遊園地に敷
きつめテスト中である。プールサイド、
庭、高速道路の中央分離帯に敷くことが
考えられている。また防音壁面としても
利用出来る。柔軟であり多孔質のため雨

工業用ゴム製品・ゴム磁石・ダイヤフラム製品

江戸川ゴム工業株式会社

本社工場 東京都江戸川区平井7丁目17番15号
名古屋工場 名古屋市緑区大高町字奥中道41番地
日立出張所 茨城県日立市桜川町3丁目9番15号

電話 (03) 611-4156 (代表)
電話 (052) 621-2281 (代表)
電話 (0294) 33-1360

粉末硫黄・沈降硫黄
ゴム工業薬品・顔料・油脂

野村化学薬品株式会社

代表取締役 野村 猛雄

東京都千代田区1-8-19
電話 (03) 4621-5335

図4 古タイヤからカーボンブラックを造るグッドイヤー社の方法

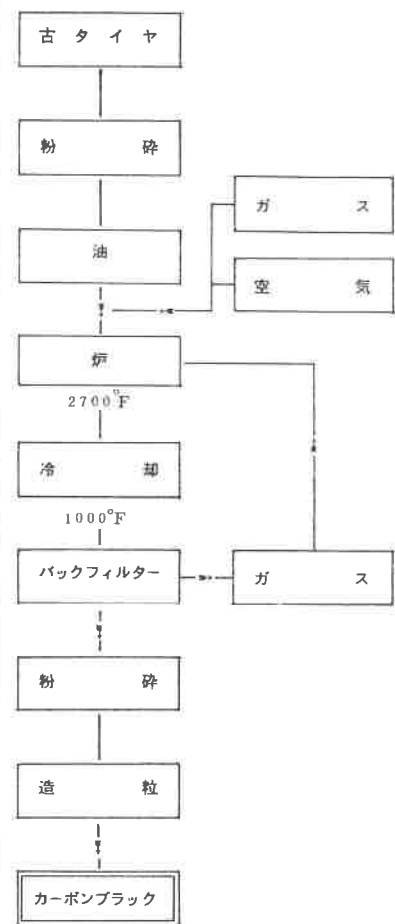


図3 くずゴムからゴム補強剤を造るマラソンオイル社の方法

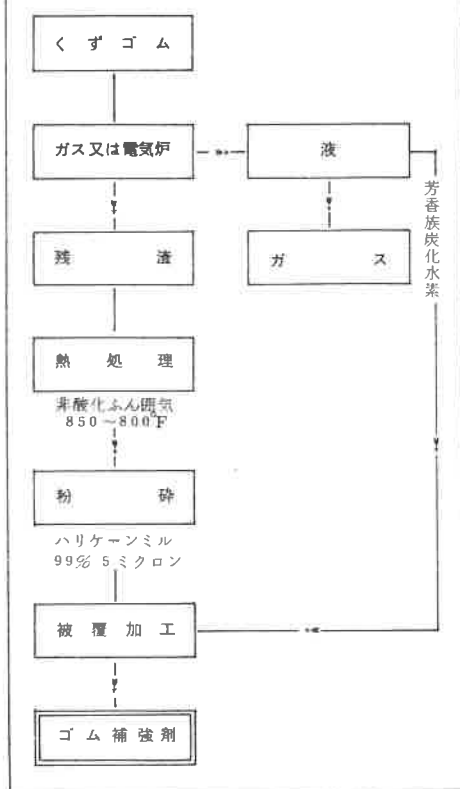
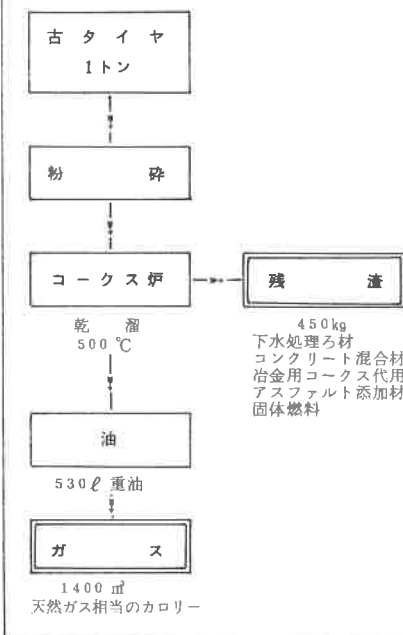


図2 古タイヤから油・燃料ガスを生成するファイヤー・ストーン社、アメリカ鉱山局の方法



古くから再生ゴムの原料として廃棄タイヤが使用されているが、生産量は減少の傾向にある。これは合成ゴムが低廉なため利益が少ないこと、あるいは合成ゴムから良質な再生ゴムが得難いこと、あるいは加工性にいくつかの問題点があるためである。天然ゴムが再生ゴム原料として好適であるが、天然ゴムと合成ゴムをブレンドした製品が多く、原料的にも問題が多い。表3(三三頁)に再生ゴム

六、再生ゴム原料として利用

〇〇kcal/kgと高いうえ、硫黄含有量は1%弱であり問題は少ない。

の推移を示した。

七、ゴムを熱分解し、生成したガス、油、残渣を利用

ゴムを分解し、これを炭化水素源として利用する方法は当然考えられる。かつて前大戦中に生ゴムの熱分解による利用が行われた。しかしながらゴム廃棄物の大部分は生ゴムではなく加硫ゴムであり、原料ゴムが二種以上混合されたものが多く、その上、カーボンブラックのようなゴム充てん剤が多量に配合されている。ゴム廃棄物を古タイヤに制限する

ならば使用するゴムの種類も限定され、天然ゴム、SBR、BR、を主とすることになる。充てん剤もカーボンブラックで大部分を占める。熱分解の前処理は経済的には好ましくないが、ビードを除去し、タイヤコードを取り除き、ゴムが熱伝導が悪いため、均質な分解生成物を造るために粉砕したゴムを使用することが望ましい。熱分解生成物はガス成分、油成分、残渣となるが、分解条件によって異ってくる。配合されている硫黄は熱分解によって残渣中に最も多く固定され、油、ガスと減少する。適当な脱硫法を組合せることにより二次公害は防止出来るものと考えられる。

次に研究されているいくつかの方法について述べる。

▲アメリカ鉱山局・ファイヤー・ストーン社の方法▲ 広範囲な熱分解条件によりバッチ法で行われた。熱分解は油成分を多く望むならば500°C、ガス成分を希望するならば900°Cがよい。生成した油、ガスは燃料として利用し、分解残渣についても用途が考えられている。工程の概要は図2のとおりである。

天然ゴム

- 日本ゼオン ニポール・ハイカー
- エッソ エッソ・ブチル
- シエル化学 カリフレックス

合成ゴム

- バイエル レバプレン・ペルブナン
- 東洋曹達 スカイブレン
- ユナイテッドシエラ社 ミストロンペーパー

ラテックス

加商株式会社

東京都中央区日本橋2-14-9
電話 (03) 272-5011 (大代表)



輸出向・内地向



雑貨用 雨衣用 ゴム引布

日新防水布株式会社

本社 大阪市永和2-50 電話 大阪(721)2424(代表)
大阪営業所 大阪市南区安堂寺橋通4-2(飯田ビル) 電話 大阪(251)0539(代表)
東京連絡所 東京都台東区千束3丁目9番8号 電話 東京(874)7901

リヤで被覆することによってゴム補強剤を造る。図3(三五頁)に工程図を示した。

▲グッド・イヤー社の方法▼ 古タイヤのゴム炭化水素を不完全燃焼してカーボンブラックを造る方法である。図4(三五頁)に示すように粉碎した古タイヤに石油と燃料ガスと空気を混合して一五〇〇度Cで分解処理する。

▲北海道工業技術開発試験所・日本ゼオン・日本揮発油の方法▼ 廃棄物を流

動分解炉に供給し熱粉碎しながら熱分解が行われる。熱分解によって生成した油は重油の代用として燃料に利用出来る。残渣の炭化物は硫黄が残溜するが、精製除去すれば活性炭として利用出来る。廃ガスは燃焼・脱硫後二次公害の無い状態で放出される。図5に工程図を示した。

▲兵庫県立工業試験場の方法▼ 粉碎した古タイヤを空気を遮断した状態で六〇〇付近で二次熱分解を行わないように

注意して熱分解を行う。生成した油は低沸点部分と高沸点部分に分離し、高沸点部分は良好なゴム軟化剤となり、低沸点部分はゴム再生油として使用する。残渣も本法によればゴム補強剤として使用出来るカーボンブラックを得る。図6に工程の概要を示した。

▲ハイドロカーボン・リサーチ社の方法▼ 攪拌器付オートクレブに古タイヤを入れ、三五〇乃至四五四度C、五〇〇

東洋防水の
再生ゴム
、総代理店
三洋貿易株式会社

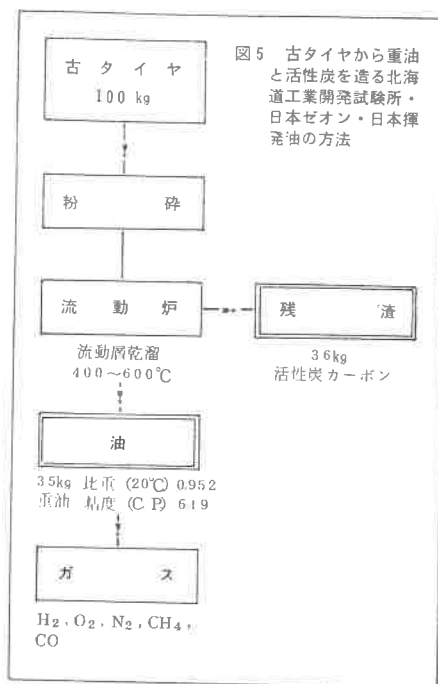


図5 古タイヤから重油と活性炭を造る北海道工業開発試験所・日本ゼオン・日本揮発油の方法

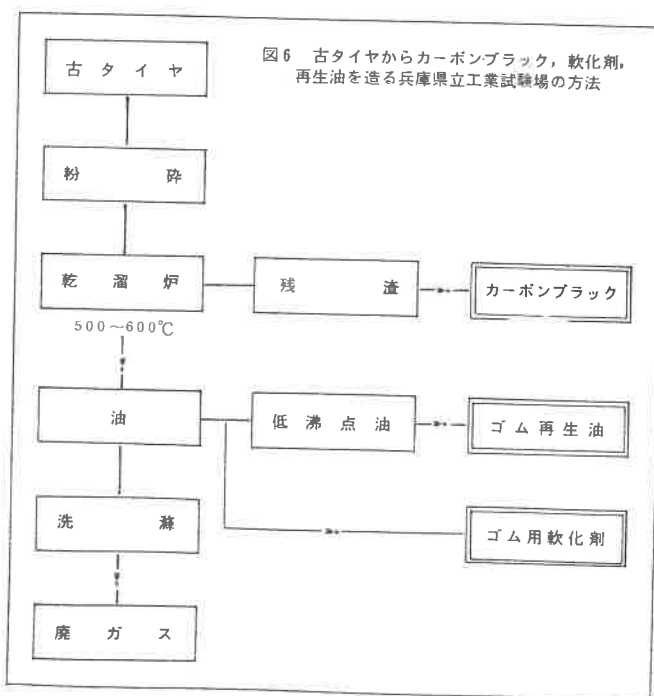


図6 古タイヤからカーボンブラック、軟化剤、再生油を造る兵庫県立工業試験場の方法

乃至二〇〇Psiで水素添加する。そうするとナフサ、燃料用ガス、ガスオイル、カーボンブラックが生成する。カーボンブラックはゴムに再使用出来る。図7に製造工程を示した。

▲神戸製鋼所の方法▼

粉碎した古タイヤを外熱式ロータリーキルン内で六〇〇乃至八〇〇度Cで短時間に分解する。分解後ガスと油を分離し、ガスは脱硫し貯蔵される。生成した油は硫黄分は一%程度である。残渣は活性化処理によって活性炭とする。図8はその概要である。

▲その他▼ 減圧下で熱分解を行う方法、マイクロ波により熱分解を行う方法、あるいはコークス炉中に石炭にゴム粉末を混ぜ都市ガス原料とするなど種々の方法が検討されている。

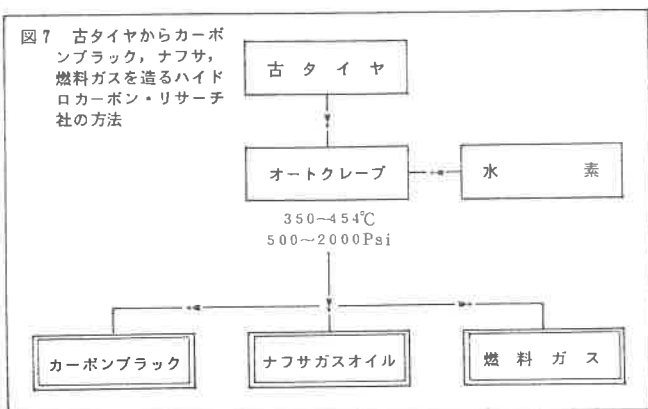


図7 古タイヤからカーボンブラック、ナフサ、燃料ガスを造るハイドロカーボン・リサーチ社の方法

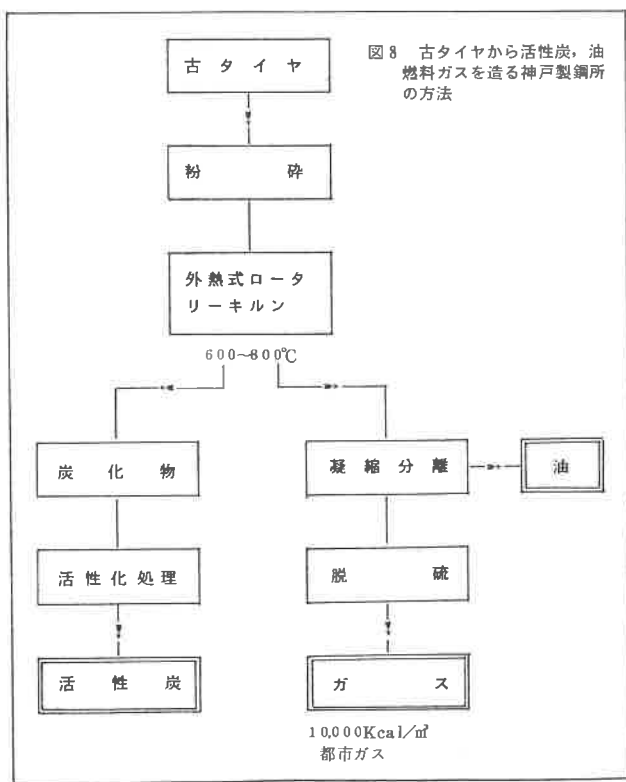


図8 古タイヤから活性炭、油、燃料ガスを造る神戸製鋼所の方法

八、二次公害の無い焼却による燃焼熱を利用

従来よりゴム廃棄物の焼却は高カロリー

、有害ガスのため炉壁を傷め、悪臭や煤煙の発生を伴い公害の原因となっている。しかしながら充分酸化を行う完全焼却は理論的には可能である。発生ガス中の硫黄酸化物のような有害物質除去と高カロリーに対処する設計も必要である。

最近いくつかのタイヤ専用焼却炉の開発が行われている。ゴムは燃焼に際して高い熱量を発生するから、この熱量を有効に利用するため、タイヤ専用ボイラー

も試みられている。グッド・イヤー社では工場内にルーカー・アメリカン・リサーチ社製の不良タイヤ・廃タイヤ専用ボイラーを設備して一日三万本のタイヤを処理している。

ゴム廃棄物の処理は環境汚染の防止のため、ゴム業界として真剣にとりくまねばならない重要な問題である。また一方において減少する資源保護のためにも、

東京ゴム工業会総会

塚田氏が常務に選任さる
菅谷前常務は顧問に

東部ゴム工業会の第三十七回定時総会は、五月十六日午後三時三十分から、都内・赤坂の東部ビル五階ホールで開催された。

当日は、島崎会長が議長席に就き。①昭和四十七年度の事業ならびに決算報告書②昭和四十八年度の事業計画案③昭和四十八年度収支予算案④昭和四十八年度会費賦課規定案⑤理事一名退任につき補充選任⑥退任理事に慰労金贈呈の各議件について審議し、いずれも満場一致で原案どおり可決した。その後、恒例の懇親パーティに移り、午後五時半まで和気あいあい裡に交歓を重ねて散会した。当日決定した同工業会の本年度事業計画は別項のとおり。

しており、最終的に加入企業は七十社（約八千人）になる見込みであり、遅くとも十月か十一月頃に厚生省から認可があるものとみ込まれるとのことであった。

昭和48年度事業計画

I 会員の親睦と協調を計る事業

①諸会合、懇親会の開催②ゴム工業に関する情報の交換、紹介、あつ旋等の業務

II ゴム工業に関する統計資料の収集、作表並びに整備

III ゴム工業の発展に資する事項

①関連団体、諸機関との連携②講演会、講習会等の開催③部会、研究会等に対する協力④労務対策に関する事項

IV その他本会の目的を達成するために必要な事業

なお、当日の総会で、昭和二十三年来常務理事として勤務した菅谷常四郎氏が後進に道を開くため辞任し顧問に、後任常務理事には、元横浜ゴム株式会社総務部長であった塚田正二郎氏が選任された。また、同日の総会で、横浜ゴム取締役社長吉武広次氏が同社出身の玉木泰男氏に替って常任理事に就任することも併せて承任された。この結果同会の役員は別表のとおりとなった。

更に、同工業会総会終了後、目下東部ゴム工業会を基盤に設立準備中の「更生年金基金」に関し、設立準備委員会委員長である中村健二郎氏（桜護謨社長）から経過報告があったが、同氏の報告によると、同基金設立の手続きは順調に推移

役員名簿

(五十音順)

▽会長Ⅱ島崎敬夫（横浜ゴム会長）

▽副会長Ⅱ松本重男（藤倉ゴム工業会長）、長瀬泰吉（長瀬ゴム工業社長）

▽常務理事Ⅱ塚田正二郎

▽常任理事Ⅱ安倍剛造（昭和ゴム社長）
越知昌三（高砂ゴム工業社長）、小林勇（興国化学工業社長）、柴本重理（ブリヂストンタイヤ社長）、吉武広次（横浜ゴム社長）、高橋清悟（東洋護謨化学工業会長）、津下綱平（岡本理研ゴム副社長）、田中達夫（日東タイヤ社長）

▽理事Ⅱ荒木晃久（東洋防水布製造社長）、池田竹夫（鬼怒川ゴム工業社長）、雲野武夫（出雲ゴム工業社長）、宇和野柘植（埼玉ゴム工業会長）、大堀喜智治（金町ゴム工業社長）、倉橋信次郎（倉橋護謨工業社長）、小島英三（西武ゴム化学専務）、小竹保治（東京ゴム製造会

長）、後藤益太郎（三興護謨工業専務）、清水夏樹（入間川ゴム社長）、菅谷権治（亀戸ゴム工業社長）、滝野武夫（興国ゴム工業会長）、田口吉太郎（帝都ゴム製造社長）、立石大輔（大機ゴム工業社長）、豊間厚（気球製作所社長）、藤堂定男（ヤマト化学工業社長）、中村健二郎（桜護謨社長）、福島常次郎（東京トヨーゴム社長）、堀内清純（東京ゴム製作所代表取締役）、松村英一（明治ゴム化成社長）、村岡信一（村岡ゴム工業会長）、山口克太郎（江戸川ゴム工業社長）、山田光治郎（山田護謨社長）、山崎四郎（東光ゴム社長）

▽監事Ⅱ田口三郎助（田口ゴム工業常務）、富岡五郎（富岡調帯社長）

△塚田正二郎氏の略歴▽昭和十一年三月立教大学経済学部卒、四月横浜ゴム入社、四十三年三月総務部長、四十八年三月定年退職後嘱託。

◇税務メモ◇

世をあげてのゴルフ・ブーム。このゴルフ接待の場合の費用化についての業務上の判断。

年会費は交際費です

会社がゴルフ・クラブに支払う年会費やら年決めロッカー料およびその他の費用（プレーに直接要する費用を除く）については、その入会金が資産として計上されている場合は交際費となりますが、入会金が給与とされる場合には、会員たる特定の役員または使用人に対する給与となります。

プレーに直接要する費用については入会金が資産計上されているか否かにかかわらず、法人の業務の遂行上必要であるものについては交際費となります。その他の場合には役員または使用人の給与となります。

祝日法の一部改正に伴うダブリ休日の取扱いについて

日経連春闘連絡事務室

〔問〕「国民の祝日に関する法律の改正案」が国会を通過し、祝日が日曜日とダブったときは月曜日を休日とすることにしたが、この法律の内容や各業界の動きについて

〔答〕一、この法律は、本年三月二十七日に衆議院内閣委員会で可決、直ちに同日衆議院本会議に上程され通過、四月六日に参議院を通過、成立した。

この法律は、公布の日からすぐ施行されるので、四月二十九日の天皇誕生日から適用され、三十日（月）がダブリ休日となる。今年は、このほか九月二十三日の秋分の日にも適用されるが、来年も今年と同様、その該当日が三回ある（今年は、二月十一日の建国記念日がすでにす

んでいるので実質的には二回）

今後十年間では、祝日と休日のダブル日数は年平均で一・八日である。平均日数では少ないようだが、大企業では人件費等の固定費が一日分で四、五九二万円（日銀「主要企業経営分析」製造業）にのぼっており、これだけのロスが生じることとなる。

二、従来の「国民の祝日に関する法律（昭和二十三年、法律第一七八号）」は、①第二条で、十二日の国民の祝日を定め、

②第三条で、「国民の祝日は休日とすと規定していた。

今回の改正では、この第三条に「国民

の祝日が日曜日にあたるときは、その翌日を休日とする」という一項が加えられることになった。すなわち、国民の祝日と日曜日がダブルときは、その翌日である月曜日が休日となる。

三、それ故、この法律の取扱いについては、一般民間産業としては従来の「国民の祝日に関する法律」と全く同じに考えればよい。つまり、この法律には罰則規定はなくまた労働基準法上の解釈としても法に定める日を会社の休日としないでも、処罰されることはないから労使の自主的判断で決めればよいわけである。

また、この休日（月曜日）は法律上、休日ではあっても祝日そのものではないため、仮に労働協約や就業規則で、「国民の祝日は休日とする」旨のきまりがあっても、自動的に休日にする必要はない。四、当面、この法律は公務員や学校で適用されることになろうが銀行や証券業界でも採用される見込みが強い。また私

鉄業界の一部にみられるように国民の祝日が日曜日とダブったら代休を出すという規則で定めているところでは、振替え休日を与えることになるだろう。

しかし、ほとんどの製造業では例えば、自動車業界や紙・パ業界のように、年間協定で労働時間や就業日数をきめているので、直接問題が起ることは少ない模様である。

さらに、化繊業界のように、特定休日が日曜日とダブっても、代りの休日を与えない旨のとりきめのあるところでは、全く従来通りの取扱いである。

しかし、一般的には業界の多くがそうであるように、他の情勢をみてからきめようとしているところや、まだ労使の話し合いが行なわれていないところも多いようである。

五、一方、わが国の週休二日制への移行はかなり進んでおり、最近の労働省の調査結果によると、これを採用する企業

数は四十六年の六・五％から四十七年には一三・二％と倍以上伸びている。とくに一、〇〇人以上規模の企業では、四十七年で五二％と半分以上が週休二日制を実施している。

このように週休二日制をとっている企業、または今後とうとうとしている企業は、ダブリ休日を採用する場合、三連休となるので生産計画等の上で大きな変更を余儀なくされるから、企業経営上十分注意することが必要である。

また、わが国では、週休二日制の導入に際して、ウィーク・デイに祝日がある場合には、その週の土曜日は休まないとか、その祝日を土曜日に振り当てるとかしているのが一般的である。

こうしたことからみても、このダブリ休日は、週休二日制の問題とも考え合わせ、年間休日の中で位置づけていくことが望ましい。

結論的にいって、今次祝日法の改正に

についての取り扱いには、業種・業態に応じて種々問題点が異なるので、それぞれの企業で十分検討して決定することが肝要である。

日本ゴム工業会第123回理事会

中小企業の

週休二日制問題から

幹事の長瀬泰吉氏が病欠のため、山口副幹事（江戸川ゴム社長）が替って報告に立った。概要は次の通り。

週休二日制は好むと好まざるとにかかわらず中小企業でも実施に踏み切らざるを得ないという点で大勢の意見が一致した。実施に当っては①国が定める祝祭日休日をこれに充てるべきだ、②生産性の低下が懸念される、③週休二日制実施に伴う労働条件の改訂に際しては若年労働者と高年労働者間の考え方を調整する必要があるなどの意見が強く出された。

ゴム製品

大幅価格の改訂に突入

大手各社挙って強気

ゴム用資材が大巾な値上りをしている折、各企業とも価格改訂の動きが活発化している。

第三次価格改訂に踏み切ったゴム履物業界に続いて、自動車タイヤ業界、ベルト・ホース業界、工業用ゴム製品業界などの各業種でも大幅値上げを織込んだ新価格を実施する企業が続出している。

日本ゴムが一五%アップの新価格を八月一日から実施しているほか、東海ゴムも九月からベルト・ホース・工業用品について一五～三〇%アップを予定しており、ブリヂストンタイヤが九月一日から編上げホースを二〇%方値上げすることを前提に、また十川ゴムではゴム板を一

五～二〇%、編上げホースを二〇%方値上げすることを前提に、代理店やユーザーに対し要請書を送っている。

注目することは、各メーカーとも、値上げについて極めて強気の姿勢で臨んでいる点にある。これは、目下各業種ともに需給が品不足気味に推移しており、仮りに金融引締めが強化されても受注残、人手不足、資材入手難などから当分製品がダブつくことはないとの判断に基づくものと思われるが、いずれにせよ企業防衛の要請から、各企業とも期せずして価格改訂に踏み切っているのが現状である。なお、商品の性格上値上げについては慎重を期している自動車タイヤメーカー

も背に腹は替えられないことから各社とも、自主的に八月中には新価格を発表するものとみられている。

練生地も大幅再値上げ

このとこ各種資材のひっ迫ばつづきゴムメーカーでは相ついで価格改訂をおこなっているが、更生タイヤ用練生地メーカーは、天然ゴムがキロ当り二百二、三十円台と、いぜん高水準を維持しつづけてコストアップとなっていること、また合成ゴム、カーボンブラック、ステアリン酸、各種配合剤など、練生地を生産にかかわる各種原材料、副資材の価格が高騰、一部資材においてはひっ迫状態となり手当てもままならぬことから、近く各社自主的に製品価格の再改訂にふみ切るものとみられる。引上げ幅は天然ゴム価

格が本年春にくらべ百円がらみ、およそ倍額近い高騰ぶりをしめていることからしても、かなり大幅な値上げになることは確実とみられる。

なお同業界は、さる五月に一五%程度の値上げを実施しており、今回の改訂がおこなわれると本年二度目の値上げとなる。

合成ゴム・塩ビ・せんい……………

どこ迄続く資材不足

……………ちまたの情況

節電!! 節水!! 物価高!! 丁度十八年前と同じような事が起っている。各メーカーの資材購入担当者は汗ダクでガンバっているが、その実情は……………。

◇ 合成ゴムではSBRの不足がBRへ波及し、ゴム薬はカーボン、老防、ステアリン酸など不足現象が急速に拡がっているといわれる。

◇ 原料資材供給側が当初は供給不足について「平あやまりのお百度」をしていた

が、今や逆に購入側が供給「お願いのお百度」と変り、それも部長クラスなど大物の御出馬とあって資材販売会社は針のむしろに座らされているようだ——と雲

がくれ(?)の一手。このような不足状態が長びくと大手メーカーにかなりの譲歩をしてもらわないと、中小企業にはますます気の毒なことになりかねないと予測する人もある。

◇ 原料資材が潤沢に入れば「つくるだけ売れる」ゴム・プラスチックメーカーも

仮需要の実数がかめず、ルートチェックをきびしくするなど手を打っているが、次第に選別供給の度合いを強め、一時しきりに提唱された「パイプを太く短かく」の再現に向っている。またディーラーも同様にユーザーの選別をはじめめる動きが見られ、安く買いたたく業者は今までの反動をもろに受ける情勢となった。

◇ このような状態がいつまで続くか解らないだけに、売手側の心理状態も強気ばかりになれず「痛しかゆし」の気持で不安定さはかくせない。いわばムード的仮需要がどの程度動いているかが問題で、「売り惜み」があるとすれば手痛い打撃をこうむる可能性もあるとしている。

出光ショックで原料の不足が日々悪化しているといわれ、塩ビの不足が相当こたえているように一般にキロ当りコンパウンド百七十円程度のものがヤミルート品でキロ三〇四百円の高値となった。

バンダー再生ゴム

J I S 指定

30年の歴史を有する
バンダー再生ゴムは高
品質で均一性に富む製
品を提供して居ります

阪東調帯ゴム株式会社

老防の精工

使いやすい老化防止剤!

粒状オゾン劣化防止剤

オゾンEX ベレット

粒状屈曲き裂防止剤

ノンフレックスPX ベレット

非汚染性粉末老化防止剤

ノンフレックスWSP パウダー

 精工化学株式会社

東京営業所 103 東京都千代田神田多町2-1 神田進興ビル 電話(03)254-2771
大阪営業所 541 大阪市東区道修町1-3 花房ビル 電話(06)231-4361

老防の精工

一部大阪生野地区ではキロ五百円現金取引の声も聞かれ、零細業者では休業、倒産寸前に追い込まれているとか。

こうなったらお隣りの韓国から仕入れて一儲けと、あわてて韓国行きを計画した業者もあったようだが、塩ビは輸出禁止になったそうで今流れ込んでいる塩ビはすべて密輸品。李ラインを超えれば：と韓国業者あたりが強行突破するそうだが、品質は悪いし高値で評判が悪い。

一転スクラップ再生業が一躍脚光をあびたわけだが、レッキとした製品もスクラップ並みの扱いをうけて製品不足に拍車。軟質塩ビホースを無差別大量に仕入れて粉砕し再生原料に早がわりするのがあるという。

墨東ゴム工業会・会報

五月号

(第11巻 第3号)

昭和四十八年五月一日

印刷

昭和四十八年五月一日

発行

隔月一回発行

発行人 長瀬泰吉

編集人 墨東ゴム工業会編集委員会

発行所 東京都墨田区墨田二ノ三五六号 (長瀬ゴム工業内)

墨東ゴム工業会

製作 東京都豊島区東池袋一ノ三ノ七 (東亜ビル)

株 日本エディター

奥さまご同伴で デラックスヨーロッパ旅行

10月9日～10月22日 (14日間)

ヨーロッパの一番よい季節です

旅行日程

10月9日	(火)	JL 433便 (22:30)	東京発、北緯経由で一 略北欧第一の都市コペンハーゲンへ
10日			コペンハーゲン、クリスチヤンボルグ城、アマリエ ンボルグ城、ドリアアルセン博物館、国立博物館、 アンデルセンの人形像などを見学 (宿泊)
11日			マルモ (スウェーデン領) フエリーボートにて往 復、夕刻空路パリへ (パリにて宿泊)
12日			パリ 終日市内観光、ノートルダム寺院、サンシャ ベル、シャンゼリゼ、ナポレオンの墓、モンマルト ルの丘その他。 (宿泊)
13日			パリ 近代美術館、印象派美術館、セーヌ河散策、 ジョッピンダなど。 (宿泊)
14日			マドリッド タ列ルパリより空路到着、夕食後ギター と情熱のフラメンコ見学 (宿泊)
15日			マドリッド 市内観光、プラド美術館、エルレタイ ロ公園、スペイン王宮など見学 (宿泊)
16日			ニース 屋空路到着、花のコートダジュールへ、サ ンレモ、モナコ王国 (カジノ見物も) (宿泊)
17日			ジュネーブ 朝空路到着、市内観光、モンブラン通 り、モンブラン橋、パレナシオンほか。 (宿泊)
18日			シヤモニー ジュネーブより早朝自動車にてアルプ ス連山や氷河を眺望しつづ往復。クーガルカーにて 名峰モンブラン登頂。 (ジュネーブにて宿泊)
19日			ケルン ジュネーブよりフラクフルトを経て午後 空路到着。ボン市内観光、ライン河及びミューンスタ ー広場などを散策。 (宿泊)
20日			ロンボン 午後空路着。市内観光、ウエストミンス ター寺院、ロンボン塔、バッキンガム宮殿、ハイド パーク、大英博物館など。 (宿泊)
21日			ロンボン JL412便 (11:15) にて帰路へ。
22日	(月)	14:55	東京空港着

に参加の おすすめ

奥様同伴デラックス・ヨーロッパ旅行会

入るやヨーロッパには「ライ・フ・ア・ス」のような言葉がありますが、文明度が進んでいる国ほど婦人らしいわが大に感じますことばや定説はな
ておきます。

いかに、日本は自由國で世界第一の繁栄大國なっておりますが、婦人通ずる点ではまだアメリカやヨーロッパの域に達していないように思わ
れ、生活様式や価値観がアメリカやヨーロッパと若干違つていゝや、人間尊重という西に思想からみて残念に思われたいのかもしれませんが、とくに夫を成功に導いた
内助の功をき事業人の奥様方の立場が功成りを遂げたご主人に比べ余り報いられない、ような気が致してなりません。

よつて本社では、多年経験者の良妻佳母として内助に足るべきに外國旅行の便をき味ね、と敬くことは、ご二様のことに
の素直と仕事業の繁栄のため、必要とするものと思ひ、別記次第として「奥様同伴デラックス・ヨーロッパ旅行会」を主催することに相成りました。

何と云へばのチャームを生かされ、根って奥様も同伴で参加賜ひますようお願い申し上げます。

なお、本旅行会の特長は下記のとおりであります。

(一) ホテルが全部一流ホテルであること、交通機関が全部飛行機である (市内交通はバス) ことによりお料理のよさに他の追隨を許さぬ格安な渡航費
である。

(二) ヨロップの主要観光地を網羅したまたとなり充実した日程となっております。

(三) お仕事に達せえないとら渡航期間を短縮し、通商とした。

(四) 渡航期間を短めらす費からする上目とした。

(五) 渡航代理店は所算に定評のある奥京観光航空であり、添乗員は機嫌の上でまわりのサービスをもっとしていること。

主催 ゴムタイムス社

実施要領

旅行総経費 (参加費) 三八五、〇〇〇円 (航空券)

◇経費に含みぬもの
一、航空運賃 (全往復トータル)
二、ホテル (一級ホテル、一室二名、風呂
付) 三、食料代 (一日三食標準) 四、各地
の観光、移動バス等の料金五、空港税、ホ
ーター、チップ等六、ガイド、添乗員、そ
の他の雑費七、旅行傷害保険料

◇上記経費に含まれないもの
一、旅券印紙代、その経費代、手続手数料
二、旅行傷害保険料 (標準者のみ) 三、手
荷物重量超過料金 (二〇kgまで無料) 四、
その他の個人的な費用 (小遣金、土産代、
通信費等) 五、手続手数料六、国際航空路
料金

お申込方法 左記のご照されば楽
内蔵および申込用紙をお送り致します。
(子二二) 東京都台東区柳橋一三二二
(株) ゴムタイムス社営業部 電話〇三
(八六一) 三〇三二 (直通線并)

渡航手続 渡航手続は旅行代りから旅券
申請、外貨許可申請等一切を指定旅行代理
店にお任せ致しますので、手続上の面倒は
ありません。なお、お申込後、直ぐに下
記の書類をご用意下さい。

① 登録本二通 (登録本人引以て発行のもの) ② 旅券五枚 (正面、上半
身、無帽、背料無地) 五〇×五〇、三ヶ月
以内のもの) ③ 写真二枚
分割支払 申込金五五、〇〇〇を支払
い、この申込金を頭金として残額はローン
を利用して三ヶ月ごに四回までの分割支
払いの便があります。手続には約一ヶ月
の期間を要しますのでご希望の方は早目に
お申込下さい。

経済的で加工性の優れた

旭化成の溶液重合ポリマー

ジエン・・・ポリブタジエン	タフテン・・・溶液重合SBR
ジエン 35R ジエン 35A	タフテン1,000R タフテン1,000A
ジエン 55R ジエン 55A	タフテン2,000R タフテン2,000A
ジエン 500 (ハイアロマテック系50部)	タフテン2,003
ジエン 531 (ハイアロマテック系37.5部)	タフテン4,003
	タフテン1,530 (ハイアロマテック系37.5部)
	タフテン1,533 (ハイアロマテック系37.5部)
	タフテン2,630 (ナッテン系37.5部)

旭化成工業株式会社

合成ゴム販売部 千代田区有楽町(日比谷三井ビル) TEL 502-7111
 合成ゴム加工研究所 川崎市夜光1-3-2 TEL 044-28-7551

CML

#21 #31 #41 #242

気泡防止剤

- ・ゴム塩ビ用
- ・塗料用

パールカタウン

製造発売元

難燃剤

- ・ゴム塩ビ用
- ・塗料用

配合技術に関する問題を気軽に御相談下さい

川茂株式会社 中央区日本橋本町3-1共同ビル(本町通)
 TEL: (03) 279-2671

すぐれた技術

すぐれた製品

川口化学の薬品

アクセセル (加硫促進剤)

BUR, BZ, CZ, D, DM, DS, EUR,
 EZ, F, LUR, M, MH, MP, MX-1,
 MX-2, MX-K, MZ, NS, PP, PX,
 PZ, SDD, SED, SMB, TBT, TET,
 TL, TMT, TP, TRA, TS, 22,

アンテージ (老化防止剤)

AW, BHT, BOUR, CP, D, DAH,
 DBH, DP, DP-1, DP-2, F, クリ
 タル, MB, NBC, OD, RC, RD,
 3C, SP, TNP, W-200, W-300,
 W-400, W-500, WT-100, XP-100,

アクター (加硫剤)

CL, DB, DQ, Q, R,
 グリーン (未加硫硬化剤)
 DC

ベプター (シャク解剤)
 S

オゾガード (き裂防止剤)
 F, MC

エクストン (加工助剤)
 K1



川口化学工業株式会社

本社 〒101 東京都千代田区外神田2丁目14番10号
 電話 東京(255)8481 (大代表) (広瀬ビル6階)

生ゴム
 合成ゴム
 ラテックス

輸入販売

伸栄商事株式会社

取締役社長 筒井義晴

東京都中央区豊洲島二丁目四番地
 電話(五五二)二八三一

ゴム薬品・合成ゴム

シウ・ブラック ニテロン

昭和電工製 日鉄化学工業製

ステアリン酸 ニブシールVN-3

日本油脂製 日本シリカ工業製

株式会社 小菅商会

東京都墨田区東向島二丁目三十三番地二号
 電話(六三三)〇三一〇三二五

生ゴム ☆ 合成ゴム

護謨栄株式会社

東京都墨田区八広1-3-2

電話 (614) 1176・1177



ツバメ印

各種ゴムサブ製造販売

日本サブ化工株式会社

本社 東京都台東区松ガ谷4-9-6 電話(841) 1095

工場 東京都墨田区東墨田2-11-12 電話(611) 1852

HAFカーボン新製品!!

旭 #70 (HAF)

#80 (ISAF)

従来の販売製品

旭 # 60 (FEF)

旭 # 55 (GPF)

旭 # 50 (SRF)

旭 # 35 (SRF-LM)

旭×C-550 (電導性カーボン)

カタログ進呈 旭カーボン株式会社

株式会社

成岡商店

東京都台東区浅草 2-3-61

電話 (848) 6911~7

米国マーカル社製

“マーカルペイントスティック”

- どんなゴムにも書ける液体ペイントの固型化・
- B, BE, Jタイプがゴム用です・
- 色は白, 黒, 赤, 橙, 青, 緑, 鼠金, アルミ等・
- 耐水, 耐熱, 耐薬品, 耐候性・
- カタログ, 見本御送り致します。

東京都千代田区神田和泉町 1~5

共立化成株式会社

電話 (866) 6059・5040



住友化学のゴム薬品

特約店

旭化成ジェンラバー

其他合成ゴム全般取扱



有限会社 小堀商事

代表取締役 小堀 茂

東京都台東区竜泉 3-38-8 電話(872) 1607・2025